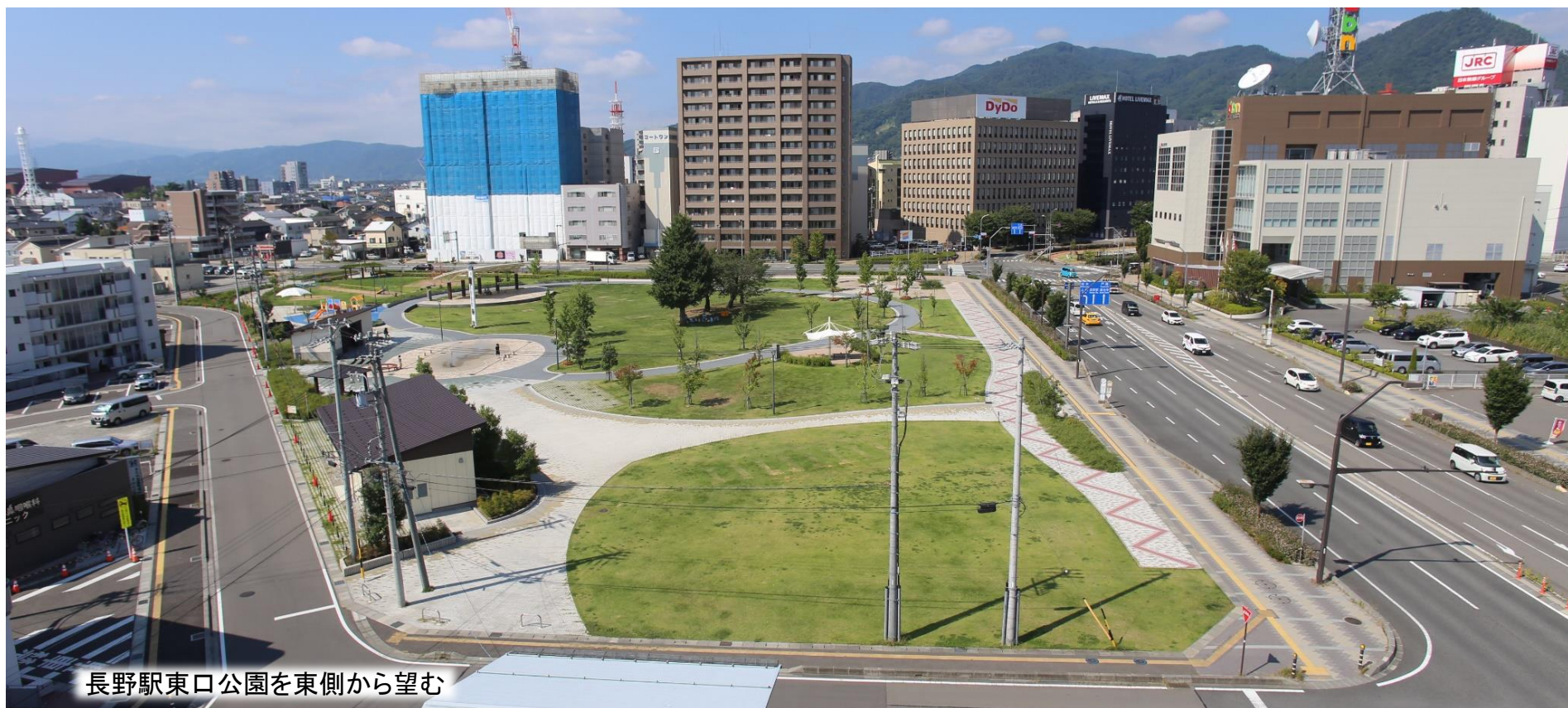


11月9日記者会見まで
非公開

長野駅東口公園における Park-PFIによる便益施設の設置について

～人々を惹きつける魅力あふれる公園を目指して～



長野駅東口公園を東側から望む

都市整備部公園緑地課

長野駅東口公園の概要

～長野市の玄関口、長野駅東口の新たなシンボル～

2

種 別：近隣公園

面 積：1.3 ha（平成31年4月開設）

主な施設：・屋根付休憩施設（ステージ）・多目的トイレ・噴水・遊具
・防災備蓄倉庫・防災四阿・耐震性貯水槽 ほか

長野駅周辺地区の都市再生整備計画に位置づけ、市民の憩いと地域コミュニティの活性化、都市の防災機能向上を目的に、土地区画整理事業で整備

休日は家族連れで
にぎわう遊具



【経緯】

- H26～27 ワークショップで整備方針、設計の概要を決定
- H29～31 公園整備工事
- H29.6.25 都市公園法改正 公募設置管理制度（Park-PFI）の施行
- H29.10 **整備工事が進捗する中、地元組織から便益施設の要望**
⇒ 地元との協議により、設置予定地を確保
 - 地元組織 ・長野駅東口地域街づくり対策連絡協議会
 - ・芹田地区住民自治協議会
- H30.12 アンケートにより公園名『長野駅東口公園』決定
- H31.4 供用開始
- R元.5 地元主催で開園式開催

イベント開催時には、多くの方が訪れる



子供連れに人気の噴水



活発な議論が交わされたワークショップ



長野駅東口公園の利用状況

～平日も利用者が多い市民の憩いの場～

～イベント時は高い集客ポテンシャルを発揮～

平日の公園利用状況
令和4年6月1日(水)12時～13時(約30人が利用)

令和4年9月3日(土)
4日(日)
クラフトビール
&フードフェスタ
参加者1万2千人

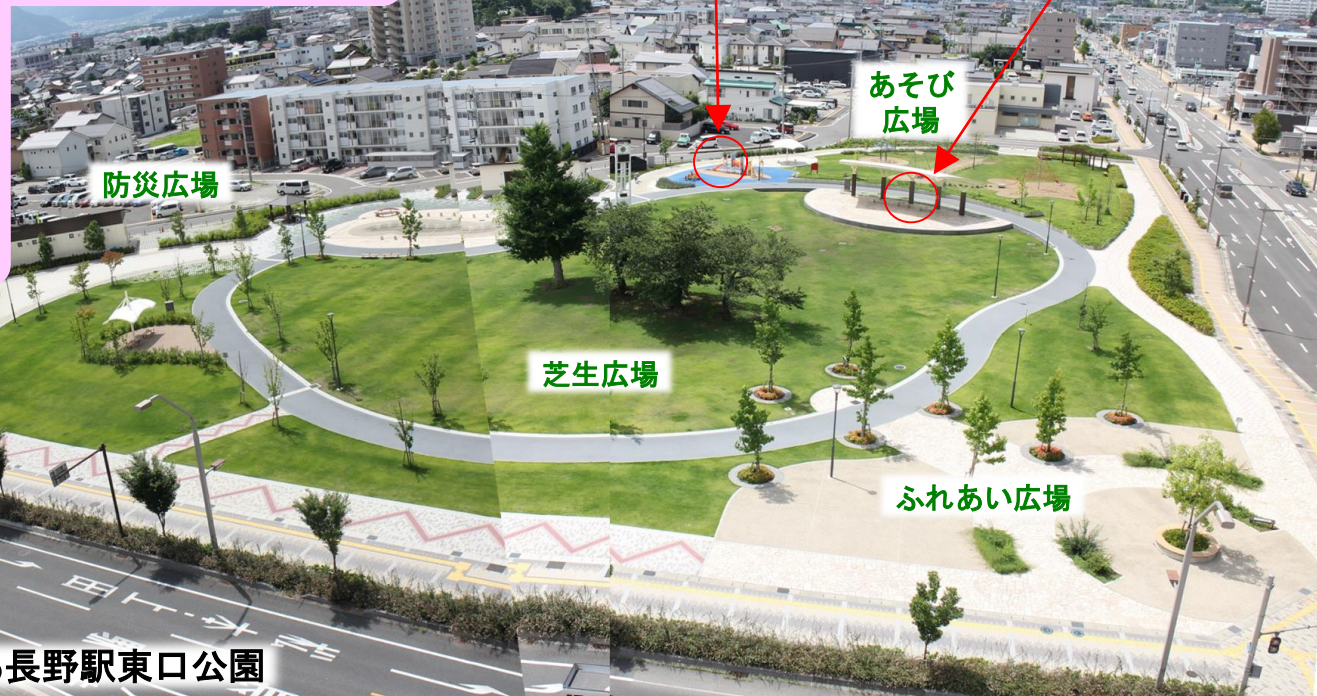
令和元年5月11日(土)
開園式



幼児用の遊具で遊ぶ親子

イベント開催時にステージとして利用できる屋根付き休憩施設

令和元年8月3日(土)
4日(日)
フードソニック2019in長野
参加者2万4千人



防災広場

あそび
広場

芝生広場

ふれあい広場

4つのゾーンから成る長野駅東口公園



【Park-PFI予定地の特徴】

- ・ 公園内を見渡せる角地
- ・ あらゆる方向に向けた建築が可能な扇型
- ・ 2方向が道路に面しアクセスが容易
- ・ 風通しが良く開放感がある
- ・ 周囲に高い建物が無く陽当り良好



便益施設設置の目的

～地域や利用者の期待に応える新たな公園機能～

○公募設置管理制度 (Park-PFI) により、民間事業者による飲食を主体とした施設を設置し、公園利用者の利便性と快適性の向上を図る。

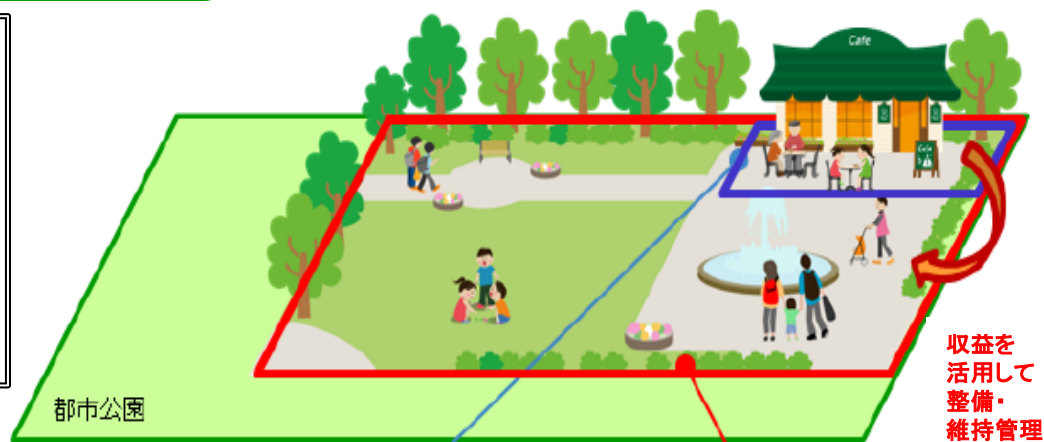
- ・長野駅東口における新たな顔として、開園以来多くの市民が利用している。
- ・公園の価値を更に高めることを期待する市民の声がある。

公募設置管理制度 (Park-PFI) の概要

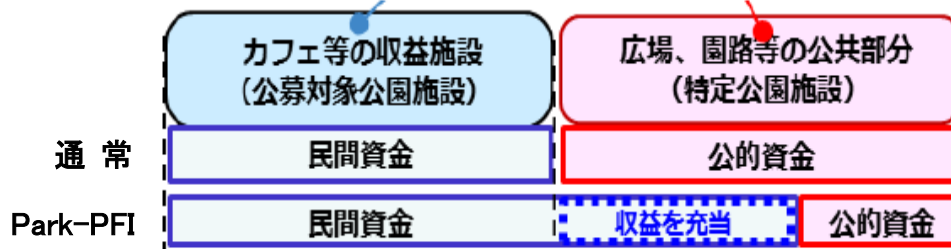
～民間活力の導入による施設整備～

公募設置管理制度 (Park-PFI) とは

飲食店・売店等の公園施設の設置と当該施設から生じる収益を活用して周辺の園路、広場等の公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度



民間が収益施設と公共部分を一体的に整備・維持管理



【公園管理者のメリット】

- ・ 民間資金を活用することで財政負担が軽減
- ・ 公園の魅力、サービスレベルの向上

【公園利用者のメリット】

- ・ 飲食施設による利用者サービスの充実
- ・ 公園の利便性、快適性の向上

【民間事業者のメリット】

- ・ 長期的視野での投資、経営が可能
(設置許可期間：通常10年→Park-PFI 20年)
- ・ 通常に比べ規模の大きな施設が設置可能
(Park-PFIで建蔽率10%上乘せの緩和)

【地域のメリット】

- ・ 集客性の向上、地域の活力・にぎわいの創出などの相乗効果を期待

便益施設設置までの流れ

令和4年度

5年度

6年度

サウンディング市場調査

反映

公募設置管理制度(Park-PFI)

